

●●●●●現役生活動報告

4月／歩荷トレーニング（卯辰山）	月／夏合宿（北海道）
5月／新入生トレーニング（医王山）	槍穂PW
立山PW	小屋作業（高三郎）
総会	1月／倉ヶ岳PW
6月／結団式（犀川河川敷）	～以下は予定～
第1回トレ山（獅子吼、立山）	2月／雪上訓練①
7月／第2回トレ山（白山）	1月／冬合宿
8月／夏合宿（北ア・南ア）	追いコン
第3回トレ山（白山）	2月／雪上訓練②
	春合宿

※今年の新入生は1年生9名、2年生1名。継続部員は2年生5名、3年生7名、4年生5名。

【夏合宿のパーティー分け】

◆北アP…L田淵（3）、SL角江（3）、鍛冶（3）、山本（2）、下風（1）、小田代（1）、藤寄（1）

◆南アP…L長谷川（3）、SL志賀（3）、大和（2）、横山（2）、浦地（1）、小平（1）

◆北海道P…L塩原（3）、SL中野（3）、河原（2）小島（2）、石川（2）、北（1）、清水（1）、中山（1）

「生まれた一体感」

現役1年 小田代 唯人

今年金沢大学に入学して、周りに山が多く、何か新しいことを始めようと思ったのでワンダーフォーゲル部に入部しました。まず始めに登山して思ったのは思ったよりも楽ではないということです。それでも、夏合宿に向けたトレーニング山行を何回か積み重ねるごとにペースもだんだんつかめるようになり、山の厳しさにも慣れ、同時に山の魅力も分かるようになりました。

そして、夏合宿本番は本当に素晴らしいものになりました。初めての鎖、梯子、岩場なども経験できたし、幸い天候にも恵まれてご来光も拝むことができました。また、一週間パーティーで生活を共にすることで、一体感も生まれたと思います。

この夏合宿自体、大変良い経験となりましたが、それ以上にこれからも山に登りたいなと思えたことが自分にとって大きかったと思います。

～小屋作業・命からがら顛末記～

「スズメバチに刺された！！
クマにも遭遇した！！」

現役2年 河原宏貴

9月の初め、僕は3週間の小屋作業に向けてその偵察に行った。

メンバーは5人である。犀川ダムから道に入るがそこは道ではなかった。しばらく進み、ベルクハイムのふもとの川原ではハエ、もしくはアブのような虫が大量にからみついていた。前の人の足元が黒く見えるほどだ。

ベルクハイムも同様に休むことなく先に進む。そして旧道に入り、急な傾斜の坂を上る。あたりは草が伸び放題。藪やくもの巣もありスピードは落ちるばかりだ。

新道との分岐にさしかかろうとしたときのこと、山道に何かが飛んでいる。蜂だ。先輩はクマンバチだから大丈夫だといって進むよう促した。ゆっくり進む。蜂の動きが変化したのが分かった。やばいと思い、全速力で駆け抜ける。幸いにも刺されなかった。

しかし後ろの二人が刺された。クマンバチではなくスズメバチに。1匹ではなかった。何とか逃げ切るが医療タッパに薬は入っていない。アナフィラキシーショックの心配はないようだが、顔色が悪い。

急いで下山しようとするが、ダムまでは遠い。しかも追い討ちをかけるように雨がふり出す。そして下山するころには6時間以上が過ぎていた。

後日、2人は命に別状はなかった。このことを1回で話し合ったが、結局小屋作業は行う事となった。どんなことになるのか、不安は膨らむばかりだった。

結果として、また2人がスズメバチに刺されパーティがクマにまで遭遇した。日本全国でスズメバチやクマにより命を落とす人が続出する中、全員が生きて下山できたことを心から喜ぶばかりである。

現役の皆さん、無事でよかったですね！！本当にお疲れさまでした。

南ア夏合宿の思い出「目の前にでっかい富士山」

現役1年生 小平広彬

私は、夏合宿に登った山についての感想を述べたいと思います。今回、およそ1週間の日程で多くの山に登りましたが、初めての夏合宿であったため、たいへん疲れました。特に日程の半分過ぎぐらいになって疲労感がどっと出たように思います。

しかし、疲れた反面、夏合宿で得るものも多かったです。夏合宿では3000メートル以上ある山に登りましたが、山頂から眺める光景は素晴らしくまた大きく映る富士山を見ることができたことも思い出に残りました。

今回の夏合宿ではたいへんなことも多かったですが、自分にとって非常に有益な体験ができたと思います。

半煮えのうどんと巨大スイカの差し入れ

現役2年生 横山和哉

今年の夏合宿は南アルプスに行きました。甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳、北岳、間ノ岳、農鳥岳、どの山も3000メートル近くあり、神秘的な光景を僕達に見せてくれました。天気も奇跡と言っていいほど晴れ、行動中に雨が降ることはほとんどありませんでした。これには二度のトレーニングも無駄ではなかったと感じ、とても感動的でした。

初日、夕食に味噌煮込みうどんを作ったのですが、完全に煮えてなくて正直ものすごくまずかったです。4回生の方達に差し入れしてもらったスイカも大きすぎて食べきれず、他のワングルや子供達におすそ分けしました。でも、他の登山者とふれあえるのも山の醍醐味だと思います。

尾根づたいに歩く時の景色、動物や自然、山の連なりなどを見て、山を下る時にはとてもすがすがしい気分で行き渡ることができました。この夏合宿は僕にとって、とても素敵な山行となりました。

ご来光に感激！！

現役1年生 下風和秋

今年（2006年）に新しくワングルのメンバーになりました。ワングルに入ってからまだ半年ですが、今までのことについて振り返ってみたいと思います。

これまで山に登ったことは何度かありましたが、それは重たい荷物を背負ったり、何泊もするようなものではなかったもので、初めてのトレーニング山行の時はとても疲れたことを憶えています。その後何度かのトレ山をこなし、夏合宿では北アルプスに登りました。そこでの1週間は、普段経験することのないことも経験して、楽しかったです。今年は全行程晴れてくれたので、登山の途中や山頂からの景色がとてもきれいで山のすばらしさを感じる存分感じられたと思います。雷鳥やオコジョにも会えました。特に山頂から見るご来光はすごかったです。

そういうわけで、ワングルに入る前よりも山に興味を持ち、山での生活にも少し慣れ、そして何よりワングルの皆さんに出会えたことをうれしく思っております。これからもまた、いろいろと経験して知識をつけ、学生時代の思い出にしたいです。

OBひとこと通信

・今年は早々の雪 ... 暴風雪で、ホワイトクリスマスという甘い言葉も浮かばないほどでした。そうでなくてもOBは、「たかられ」でも「もらえる」ことのないクリスマスです。きっと「やまざと」で、ジングルベルならぬ、ワングルメロディーがうかび、しばし懐かしい時間が流れたことでしょう。ありがとう。本当にお疲れ様でした。(15期・舟田)

・お世話様です。本日、「やまざとVOL20」を受け取りました、いま一通り読み終えたところです。OB会報誌がずっと継続されている事は素晴らしい事で、此れを纏められる皆様のご苦勞が偲ばれます。1月7日(土)はOB会近畿支部の新年会の予定ですが、参加者はワングル歌集を持参と言う事で「同じ釜の飯」の雰囲気盛り上げようという趣旨です。今年は近畿支部の月例イベントも天候に恵まれて予定通り実施出来ましたし、私の日本300名山踏破もワングル仲間の5期金岩さん、6期小川さん、15期宇野さん、高村さん、金沢のせっちちゃんや家内の参加も得て、寒波に邪魔された12月以外は予定を達成する事が出来きて充実した山行が出来た一年でした、来年も宜しく御願ひ致します。(8期近畿支部世話役・篠島)

・やまざと、どうもありがとうございます。編集、製作ご苦勞さまでした。やまざとを読んでいると、あっという間に40数年前の回想の世界に入れるから不思議なものです。私もベルクハイム創刊号を作りましたがその時の大変だったこと、楽しかったことを思い浮かべています。

今メールを送っている部屋に古いモノクロの写真が飾ってあります。それは豊かなボリュームの雪と、真っ黒な岩の塊が融合して、すごくひきつけられる風景です。この山は黒部五郎岳。ワングル創立以来初めての北アルプス縦走の時撮ったものです。この時は立山から薬師岳を越え槍ヶ岳まで行きました。立槍号と名づけたテントを作り、7、8人のメンバーでした。薬師を越えてから雨に降られ自慢のテントは水を含んでものすごく重くなり、さすがの精鋭も設営をギブアップ。太郎平の小屋へ逃げ込みました(その時の泊まり賃が300円。今でも覚えているのは大きな出費だからです。当時1日100円で3食くえたからです)。翌朝はからりと晴れあがり、うれしくなって登ったのが黒部五郎でした。その時私の片腕となり助けてくれた池本君が数年前に亡くなりました。やまざとを読みながら彼のことを思い出すのは、何故でしょうか。

山の歌みんな口ずさんいるとか、驚きでもあり、喜びでもあります。毎年創立時のメンバー15、6人が集まり、懐かしい場所、ゆかりの場所を尋ねていますが宴会の時乾杯がわりに ごはんの歌 を大声で歌います。まさに山のじーさん、ばーさんの歌です。また疲れてくると サーラスボンダの歌をはやいリズムで歌って、歩調をあげさせられます。なばながと昔ばなしを書き申し訳ありません。やまざとの記事のなかの♪なるはらいらい

よ♪というのは雷を喜んで見に行った馬鹿な人種である我々が歌ったように、ボケ始まった記憶にあります。ではこれからもよろしく。(3期・鈴木)

・あけましておめでとうございます。先日は「やまざと」ありがとうございました。家内ともども楽しく読ませていただきました。私の写真まで入れていただき恐縮です。「あまりにも目立つところだったので」びっくりしました。また、今年もよろしくおつきあいください。深夜三時頃、宍粟市の播磨一ノ宮である伊和神社に到着しました。誘導のまま進むと、タダかと思った駐車場が500円でした。ので、その分お賽銭を少なくしときました。辺鄙な所にあるだけあって、この時間では人出はまばら。店じまい?のため、神主さんがお賽銭を集めていました。なるほど、下に白布を敷いてあると集め易いようです。駐車場のせいか、心なしか軽そうでした。[庶民はみな同じ気持ちかな]せっかく遠出したのだから、記念に「破魔矢」を買いました。1000円で、思い出だけでなく、正月を買ったいい気分になれました。庶民には、お賽銭のように形のないものより、破魔矢のように形のある方が喜ばれますね。「所得税もその方式で具体的に何に使われたのかが判った方が納得しやすい」……オッこの橋の欄干の2mになったのか……など、新春を迎えての 加藤忠好 ～・ゝ・～でした。(11期・加藤)

・いつもの年と同じように年末近くになって賀状書きが本格的になった頃「やまざと」が届きました。最近の年賀状には表書きも裏もすべてパソコンで機械的に印刷してあるものがよくあります。はっきり言ってこういった賀状はもらってもちっともうれしくありません。私の場合は、一年前の賀状を取り出してこの一年どうだったかな、などと思いながら使い慣れない筆を引っ張り出して書くので、かなりの時間がかかってしまうのです。そんな時に届いたものですから、やむを得ず賀状を中断し、早速「やまざと」のページを開きました。古い友の声が聞こえてくるようでしばしの時間賀状書きの忙殺からのがれ、ゆったりした時の流れた頃を思い出させてもらいました。その後は推して知るべし。

私も会報の責任者となっており、年4回たった12ページほどのものに苦勞しています。作成に携わった方々の苦勞は大変なものだったろうと推察します。しかし出来上がってみればそれはかけがえのないものと感じられたことでしょう。ありがとうございました。(15期・奥名)

・あけましておめでとうございます。お礼が遅れましたが、「やまざと」20号拝受しました。いつもながら、どうもありがとうございます。今回もなんのお役にもたず、申し訳ありません。ワンデリングからウオーキングに転向してしまい、山は眺めるだけになってしまいました。昨年10月に氷見市で42.195キロを歩く全国大会があり、コースのハイライトが臼が峰登頂だったのですが、平地はどうか他の参加者についていけないものの、上りになったとたんにペースダウンし、ゴールしたときはアンカーのわずか100メートル前でした。上りはもうだめです。かといって、下りもひざがいうことをきかず、苦手です。

この先の人生も、足腰をいたわりながら、できるだけフラットな道を長く歩き続けられたら、と念じています。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。(15期・松林)

・明けましておめでとうございます。皆さん、穏やかなお正月をお迎えのことと思います。

KUWV・OB会事務局の皆さん、金沢では、12月は、記録的な大雪に見舞われ大変だったでしょう。そんな中での「やまざと」編集作業をご苦労さまでした。配達された当日に流し読みし、お正月に、ジックリ楽しく読んでいます。特に「特集 山の子たちのうた」は、楽しく読みました。やっぱ、みんな唄が好きなんですよー！！今でも、山の頂きに立った時には、自然とワンゲル時代に歌った唄が口をついて出ます。「白山の尾根に――」とか「山の子は、山の子は――」とかね。

さて、野沢温泉にも、280cmを超える雪が積もっているようです。このまま降ったら、チョット多すぎる気がします。大丈夫、私の予想では、この寒波も1月中旬には収束するでしょう。2月は、適度な陽気となり、絶好のスキーシーズンとなると思われます。お正月2日現在、2006野沢スキー合宿の正式参加表明者は、9期山中、15期奥名、舟田、11期加藤、芝田、森川、青柳ですが、まだまだ、案内を発信したばかり。また何時ものメンバーに、新たな参加者も加え、楽しい集いとなりましょう。梅さんご夫妻には、今年こそ、テレマークとカービングのターン競演をお願いしたいものです。また、何時も素敵イラストで楽しませて戴いている竹中さんには、八ヶ岳山麓在住の足技を発揮され、次号に野沢の雪景色を載せられるよう期待します。では、皆さん、2月に野沢温泉でお逢いしましょう。(11期・青柳)

・大野さん、梅君、編集委員各位 「やまざと」大変楽しく読ませて頂きました。有難うございます。特集「山の子たちのうた」はよかったです。冒頭の「一人の山」「山の子」どちらも大好きな、本当によく歌った、「歌」でした。あの頃は、言葉にならない思いを、山で、里で歌に込めて、歌っていたのだと思います。大野さんの文章を読んでいると、懐かしいあの時代が彷彿とされました。一昨年、原稿依頼を受け次回こそはと言って、今回もパスしてしまいました。まあ、15期は節ちゃん奥名が投稿してるので僕が出る幕も無いかなとも思いますが…。今後も、OB会事務局よろしくお願いします。(15期・宇野)

・大学一年春の「春山合宿」は、大げさに言えば私自身のターニングポイントでした。1, 2, 3, ..., 61, 62, 63, ..., 99, 100、と数をかぞえながら上った大笠山、村中嬢の滑落など、いつまでも心の奥深く残っています。また、リーダーというものに熱いものを感じたという意味で大野さんにはいろいろ学ぶものが多かったですよ。ユウミンも思い出しました。とにかく、田舎育ちの若者には、すべて新鮮でした。(21期・滝本)

・「やまざと」拝受。私が顧問教官の時には1桁から2桁になる時でしたが、今年は50期と夢見るようです。3本脚生活で到底山歩きは駄目ですが、TVの自然番組は楽しんで

いる次第です。お元気にお過ごしください。(顧問・松尾秀邦)

・編集作業全くご苦労様です。おかげさまで年の瀬に受領し、休暇中の楽しい読み物になりました。日々仕事に追われていますと、このような非日常的なものを読みますと何か感動のようなものを感じます。早く自由に山登りが出来る身分になりたいが、反面その時がきたら時間を持て余すのかな？(6期・合津)

・先日も「やまざと」を送っていただきありがとうございました。OBの方々が卒業後何十年も経ってもワングルのメンバーで山に行かれているのを見ると「いいなあ」といつも思います。またよろしく願いいたします。(45期・竹内)

・昨年は一里野から桧新宮を経て加賀禅定道をへろへろになりながら登り、百四丈の滝を遠望。静かなお花畑を楽しみました。奥長倉の小屋は静かなものでした。これから長いコースは年を考えて下りに使います。(8期・伊豫)

・遅くなりましたが、やまざと、有り難うございます。我が家は、昨年末にチューリップの全国ツアーに行ってから、チューリップブームです。小学生の子供たちがカラオケで歌詞カードも見ないで「心の旅を」歌っているのは不思議な気分です。(26期・畠山)

・大変ご無沙汰しています。昨年送って頂いた“やまざと”を拝見していて、懐かしくなると急にメールしたくなりました。“やまざと”大変楽しく読みました。編集のご苦労ただただ感服するしだいです。本当にありがとうございます。私と女房(京子さん)はとうとう50歳になりました。50歳と聞くと何か気のせいか体力的にもガクッと来た気がします。定年までまだ10年あると思えばそんな事言っちゃおれないよって、自分自身を叱咤激励している毎日です。私は酒の方は随分弱くなりましたが、しかしながら無くては生きていけない(女房に言わせればもうアル中だそうですが)状態に突入しています。女房はまたこれが元気そのものでして、次から次と新しいこと(遊び?)を見付け出しは、友達と遊び回っています。最近では陶芸教室、裁縫遊びに夢中になっています。まあ、何はともあれ二人と一匹(愛犬“洪作”キャバリア)で健康に過ごしています。“やまざと”を見ていたら本当に山に登りたくなりますが、普段からの怠け癖のせいか、休みはジムに通うくらいが現在のところ精一杯です。定年になったらその時はと思っています。ところで、山口克己君は今どうしているのですか。以前のメールアドレスには度々連絡があったのですが、アドレスを変えたのが伝わっていないのかもしれませんが。状況を教えて頂けませんか。ご主人にもよろしくお伝え下さい。(20期・河嶋)

★野沢温泉スキー合宿' 0 7



今ふたたびスキー快樂主義宣言！！

スキーは、快樂と自由を獲得する至高の遊び！

真っ白なゲレンデを風を切り滑降する快樂

何もない白銀の大斜面に自由に弧を描く快樂

そして、愉快的仲間と食べ飲み歌い語らい合う快樂

かけ流しの天然温泉共同 1 3 湯を自由に浸り歩く快樂

そんな快樂と自由を野沢温泉スキー場で思う存分味わおう！

実施日 2007年 2月 24日（土）～25日（日）

（前後いずれか1日延長して、2泊3日がお勧めです）

場 所 いつもの 野沢温泉スキー場&共同温泉浴場 1 3 湯

宿 泊 リゾートハウス ふるさと

長野県下高井郡野沢温泉村 6 5 5 6

電話 0269-85-2241

（宿泊代は、一泊2食付 約8000円）

幹事長 11期 森川 功 同代理 青柳健二

申し込み 2007年2月4日（日）までに

Eメール／電話にて、上記 幹事長／同代理へ申し込み下さい。

kenaoyagi@aol.com （青柳） 048-481-0275

isaom@bl.mmtr.or.jp （森川） 0594-22-0353

*和室3部屋を確保していますが、家族参加の場合は、別室を確保しますので、その旨申し込み下さい。

*なお、野沢温泉スキー場、リゾートハウスふるさとの情報は、各ホームページを参照して下さい。（本日の積雪情報から宿の場所まで確認できます。）

<http://www.nozawaski.com/>

<http://www.nozawa.com/furusato/>

OB会会計報告

(平成17年12月1日～平成18年11月30日)

【収入の部】

OB会費納入	43,000
預金利息	102
計	43,102

【支出の部】

OB会報（やまざと）No. 20印刷費	225,000
郵送費	99,980
OB役員と現役との懇親会	71,800
小屋酒場食費	22,811
小屋酒場謝礼	10,000
事務備品費	13,367
その他	1,025
計	443,983

【差引剰余金】

前回（17.11.30）繰越金	1,922,823
収入の部	43,102
支出の部	443,983
差引合計	1,521,942

OB会は、皆様の会費で運営しております。会費納入にご協力をよろしくお願い致します。
会費は年間2,000円です。（平成16年～20年までの5年間の一括納入＝10,000円も受付
しております）

振込口座

●郵便局／00780-3-14120

●北國銀行本店営業部／普通預金No. 223703

どちらも「金沢大学ワンダーフォーゲル部OB会」です

なお、やまざと18号に郵便局の振込用紙を1枚同封してあります

会費納入等につきまして、ご不明の点がございましたら、会計担当 鳥越（23期）まで
お問合せください。 → E-mail torisan@knz.fitweb.or.jp

発行日■平成18年12月

発行者■梅 典雅 (19期)

編集責任者■大野直子 (21期)

印刷■プリントショップ多田

事務局■金沢大学ワンダーフォーゲル部OB会

〒920-0226 石川県金沢市栗崎町2-111

大野 直子

TEL&FAX 076-237-8706 E-mail ohno@yu.incl.ne.jp

梅 典雅 会長 E-mail togototoro@yahoo.co.jp

名倉 均 名簿担当 (23期) E-mail nag2138@po3.nsknet.or.jp

振込口座■郵便局/00780-3-14120/金沢大学ワンダーフォーゲル部OB会

振込口座■北國銀行本店/普 223703/金沢大学ワンダーフォーゲル部OB会

KUWV OB会ホームページ (管理人/奥名正啓・15期) ■<http://www.kuwv.net>



白山食堂の朝食。ラーメンなど単品もなかなかいけます。

次・やまざと'08 原稿大募集!!

来号『やまざと』の特集は、「THE・チョンボ」を予定しています。

××装備係 (伏せ名OK) は、ガスポリを忘れた…。

“しなの” 醜話 自前の具でお好み焼きを作ってしまった△△くん… etc.etc.

今だから話せる失敗・失笑談、懺悔談を大募集。

短い2、3行の原稿歓迎！ 事務局大野 (ohno@yu.incl.ne.jp) まで流してください～い！！